

東京湾海況情報 20-12

東京湾水質調査結果（平成21年3月分）

平成21年3月17日発行

千葉県水産総合研究センター

東京湾漁業研究所

〒293-0042 富津市小久保3091

TEL 0439-65-3071

E-mail futtsu-gk@mz.pref.chiba.lg.jp

千葉県農林水産技術会議

資料：東京湾水質調査(内湾:3/9(わかふさ)、内房:3/9(ふさみ丸))

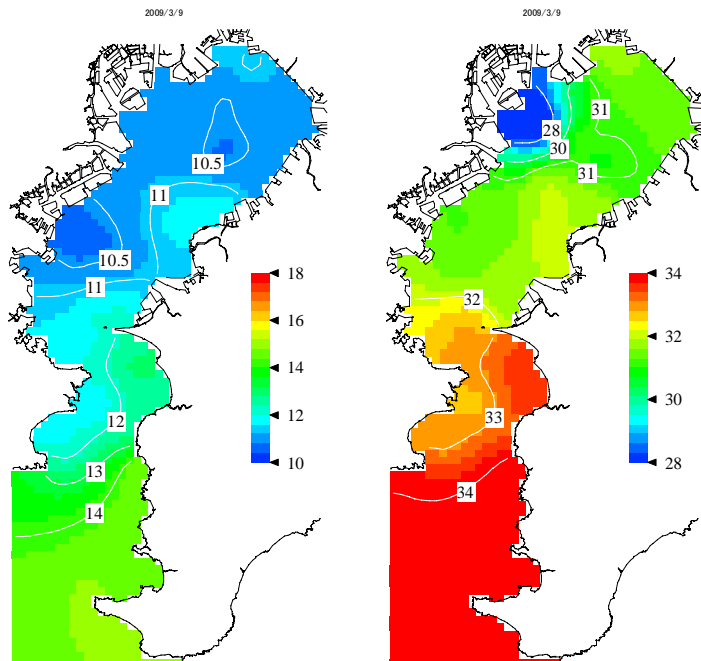
データ提供

資料参照：関東・東海海況速報、湾口海況図、漁海況旬報

水温・塩分(図1～3、表1)

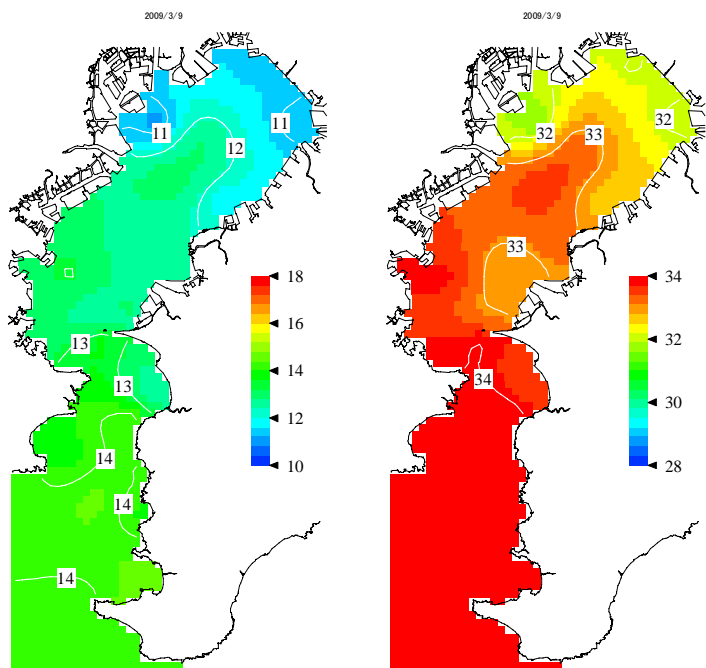
表層水温は、内湾10～11℃台(ほぼ平年並み)、内房11～14℃台(平年並みからやや低め)でした。表層塩分は、内湾26～32台(平年並みからやや低め)、内房32～34台(平年よりやや高め)でした。

水温塩分の鉛直断面から、内湾では水深5～15m以深で弱いながらも成層状態が見られました。内房では、内湾系水の押し出しが先月より縮小している様に見られました。



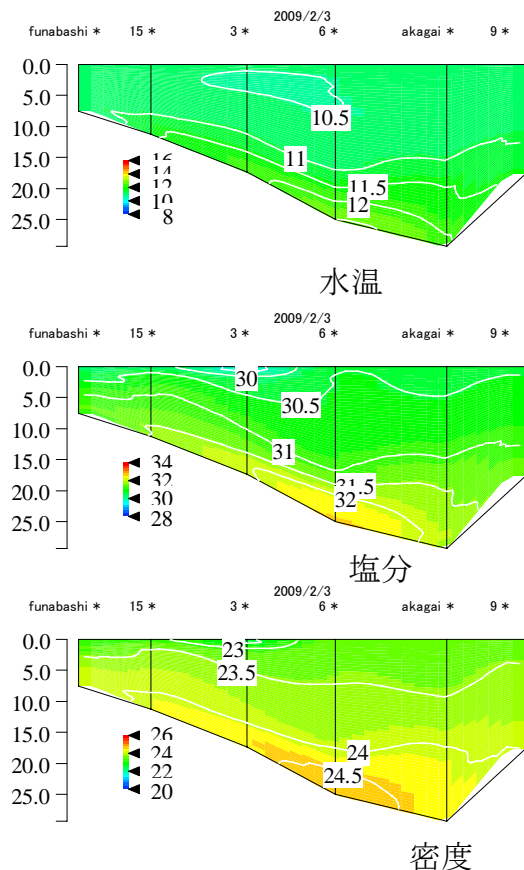
表層水温

表層塩分



底層又は50m層水温

底層又は50m層塩分



水温

塩分

密度

図1 東京湾の水温・塩分分布

図2 内湾の鉛直分布

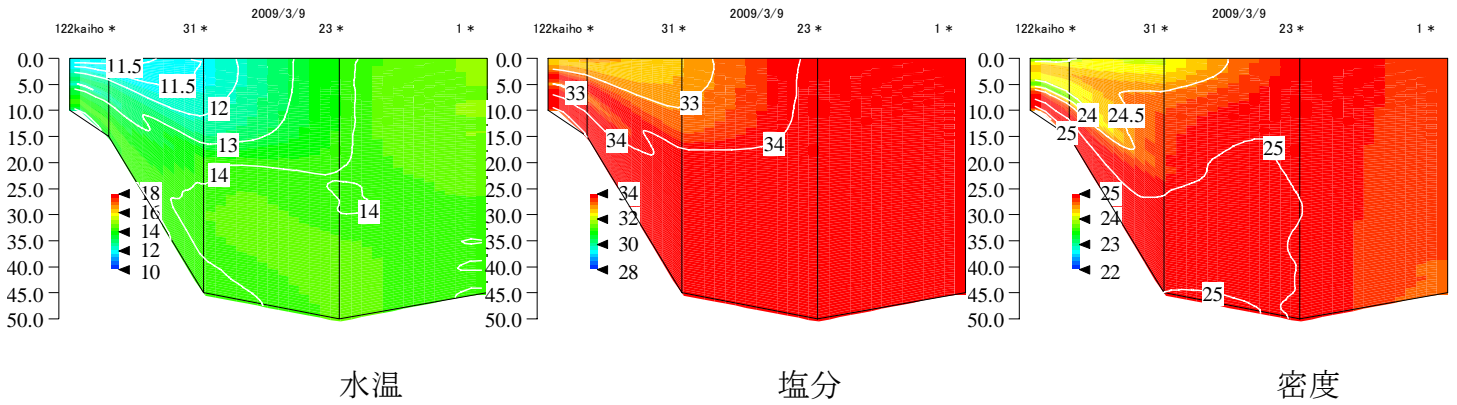


図3 内房の鉛直分布

赤潮の状況(図4、表1)

アクアラインから北の海域は、ほぼ全域で透明度3m以下、pH8.4以上と赤潮状態でした。

プランクトンは全体に多く、珪藻のリゾブレニア (*Rhizosolenia setigera*) が第1優占種で、次いでタラシオシーラ (*Thalassiosira* spp) 及びスケルトネマ (*Skeletonema costatum*) でした。

また、内湾では、ノリ色落ち原因藻のユーカンピア (*Eucampia zodiacus*) が増加してきていますので、今後の動向に注意が必要です。

植物プランクトン量の指標となるクロロフィルa量は、内湾で2~34.8 $\mu\text{g/l}$ 、内房で1~6.3 $\mu\text{g/l}$ でした。

ノリの色落ち等に影響を与える冬場の(珪藻)赤潮の目安は以下のとおりとしています。

透明度:3m以下、pH:8.4以上、
<トピックス>

* 有害赤潮プランクトンのシャトネラ属は、前回に続き今回の調査でも確認されませんでした。



図4 透明度の分布(m)

貧酸素水塊の状況(図5、表1)

内湾底層の溶存酸素は、全域で4.5ml/l以上であり、貧酸素水塊は見られませんでした。

千葉県水産総合センターでは、溶存酸素量2.5ml/l(酸素飽和度50%)以下を貧酸素水塊としています。

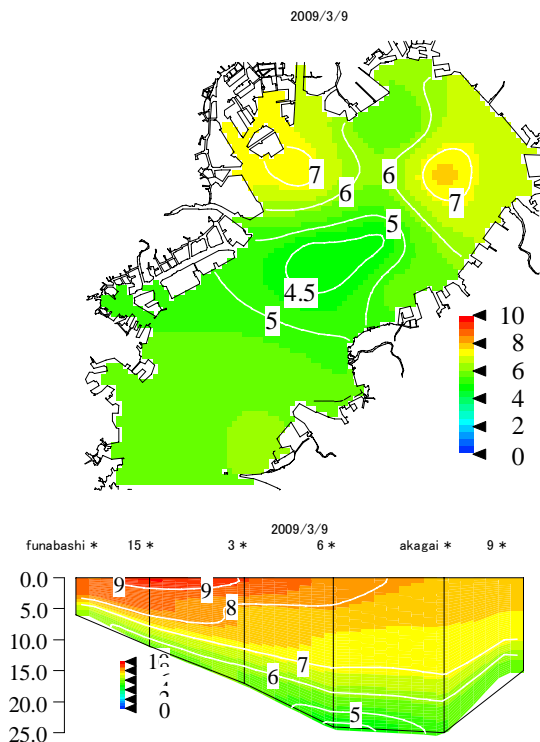


図5 内湾のDO(ml/l)
(上:底層分布、下:鉛直分布)

栄養塩類(図6、表1)

表層の栄養塩類は、内湾の中央部から北部にかけてPO4Pが5 $\mu\text{g/l}$ 未満と極端に低い区域も見られますが、漁場周辺では10 $\mu\text{g/l}$ 以上とりの生育に支障のない値を示していました。

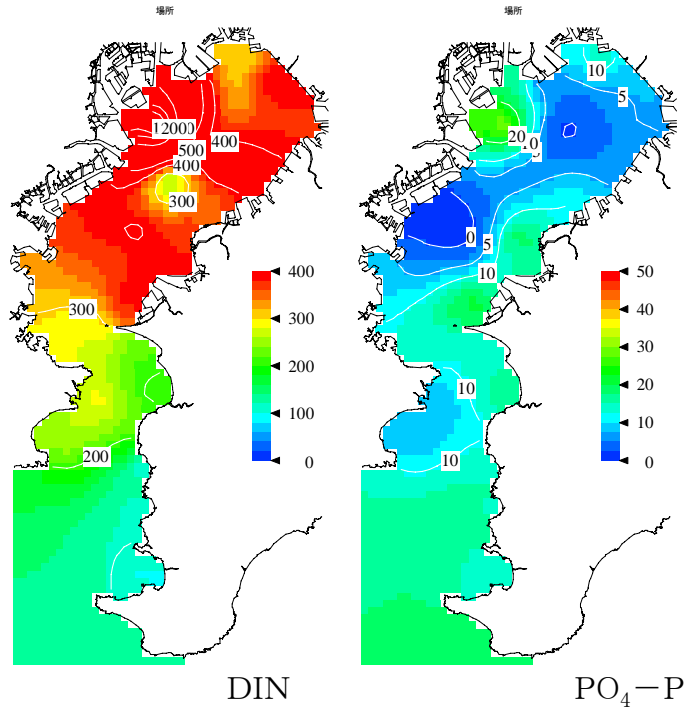


図6 表層の栄養塩分布 ($\mu\text{g/l}$)

黒潮の動き(図7)。

黒潮は、青ヶ島付近を大きく迂回して、房総沖をやや離れながら北東に流れています。今のところ沖合水の内房域へ影響は、均衡を保っていますが、今後の動きには注意が必要です。

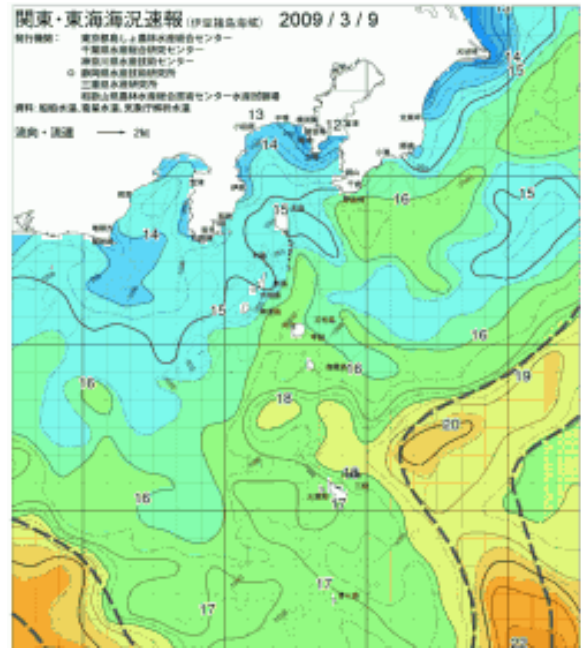


図7 黒潮の動き(3月9日)

表1 主な調査点の水質調査結果

調査年月日:平成21年3月9日

調査点	透明度	水温	塩分	pH	底層のDO (ml/L)	溶存無機 態窒素 ($\mu\text{g/l}$)	リン酸 態リン ($\mu\text{g/l}$)	アンモニア 態窒素 ($\mu\text{g/l}$)	クロロフィ ルa量 ($\mu\text{g/l}$)	
内湾	船橋	2.7 (3.1)	11.1 (10.7)	31.67 (30.89)	8.5 (8.5)	6.2 (6.8)	375 (494)	12 (13)	32 (69)	22.6
	st.15	2.7 (3.3)	10.5 (10.8)	31.12 (31.23)	8.6 (8.5)	5.6 (6.0)	317 (434)	3 (6)	5 (48)	34.8
	st.3	3.0 (3.9)	10.6 (10.6)	30.63 (31.32)	8.5 (8.5)	5.8 (5.2)	488 (460)	3 (5)	25 (52)	14.0
	st.6	3.5 (4.0)	10.8 (10.6)	31.39 (31.44)	8.5 (8.4)	4.5 (4.4)	321 (450)	4 (7)	17 (58)	18.3
	st.9	4.5 (4.7)	10.6 (10.7)	31.54 (31.90)	8.4 (8.4)	5.6 (5.6)	375 (371)	3 (6)	32 (37)	7.0
	盤洲Cブイ	3.8 (3.6)	11.4 (11.2)	31.59 (31.67)	8.4 (8.4)	5.5 (5.4)	359 (412)	10 (10)	50 (53)	15.1
	st.8 (盤洲Aブイ)	4.0 (3.9)	11.2 (11.0)	31.94 (31.92)	8.3 (8.4)	5.1 (5.0)	375 (384)	16 (10)	82 (49)	8.1
	富津ベタ	4.5 (4.7)	11.7 (11.1)	31.53 (32.00)	8.2	5.9 (5.7)	384 (330)	19 (8)	97 (35)	2.2
内房海域	第2海ほ下	5.0 (6.4)	11.7 (11.6)	32.8 (32.05)			278 (258)	12 (9)	40 (28)	5.1
	st.31	6.0 (8.2)	11.5 (12.5)	32.7 (31.98)			275 (236)	7 (10)	17 (8)	6.3
	st.23	14.0 (18.9)	13.9 (14.9)	34.2 (33.49)			128 (113)	14 (12)	10 (17)	1.0
	st.1	13.0 (17.6)	14.7 (14.7)	34.5 (33.34)			111 (95)	15 (12)	5 (15)	1.1
	st.10 (下洲沖)	7.0 (7.1)	12.6 (12.4)	33.4 (32.97)			214 (191)	12 (9)	20 (19)	
	st.12 (湊沖)	6.0 (7.3)	12.4 (12.8)	33.5 (32.44)			199 (178)	14 (9)	20 (17)	
	st.22 (保田沖)	15.0 (13.8)	14.6 (14.8)	34.4 (33.45)			103 (114)	13 (11)	6 (14)	
	st.24 (富浦沖)	14.0 (16.9)	14.6 (14.8)	34.4 (33.78)			100 (103)	13 (11)	6 (13)	
	st.26 (館山湾内)	7.0 (17.1)	14.5 (15.2)	34.1 (33.53)			84 (97)	11 (12)	7 (14)	

():過去10年間の平均値(ただし富津ベタは過去8年分)

*透明度とpHの網掛けは赤潮(冬季珪藻)の基準に達していることを示しています。